教養教育科目　講義科目

授業科目名	日本の伝統文化と作法	科目コード	配当年次	単位
担当教員	内山　政純	GA38	1	2

科目の概要

日本の伝統的な文化と作法を学ぶことは、単にそこに現れた形式や慣習の在り様を学ぶということではない。それは一定の型のなかで自らを培い、日本の歴史を作り上げてきた人々の思考や感性を学ぶことでもある。ひとつの文化について深く学ぶことは、その文化に属する人にとってはもちろんのこと、他の文化圏に属する人にとっても、自分という存在を形づくり、自分自身を知るための大きな助けとなってくれるはずである。

本科目では、日本の伝統的な文化と作法を学ぶことを通じて、一人一人が自らの教養と知見を豊かにしていくことを目指している。

科目の到達目標

①日本の古典文学、伝統芸能、日本画、着物、神社・仏閣などについて学び、それらの要点を自分の言葉で説明することができる。
②和室での所作、和食の作法、節句・節気、正しい日本語を学び、さまざまな状況に合った振る舞い方ができるようになる。

テキスト	『入門 日本の伝統文化』日経ＢＰ社 『入門 和の作法』日経ＢＰ社

テキストの読み方

①自分の興味関心のある章から読んでもよい。読み方の順番は問わない。
②各ページに掲載されている写真や絵、その解説文は、理解を助けるものなので、よく目を通しておくこと。
③テーマごとに、そのテーマについての知識を持たない人に対して、自分ならばどのように説明するかを考えながら読む。

単位修得の方法

リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。